

## 第4期鹿児島県教育振興基本計画検討委員会（第1回）について

### 1 開催日時・場所

日時：令和5年7月25日（火） 午前10時から正午まで

場所：県行政庁舎 16階 教育委員会室

### 2 出席委員

有倉委員，萩原委員，岩橋委員，原之園委員，大脇委員，南委員，原田委員，木志委員

### 3 議事の主な内容

#### (1) 会長等の選出

- ・有倉委員を会長に，原之園委員を副会長に選出

#### (2) 計画の基本的な考え方

- ・ 国の教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）で示された，2040年以降の社会を見据えた教育政策の総括的な基本方針「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を踏まえて策定する。
- ・ 「かごしま未来創造ビジョン」（令和2年3月改訂）で示されている「10年後の将来像」や「鹿児島県教育振興基本計画」（平成31年2月策定）で示された平成31（2019）年度以降の10年後を見据えた「基本目標」に基づき，令和6年度から令和10年度までの5年間に取り組むべき施策を体系化する。
- ・ 現施策（36施策）の進捗状況については，「教育委員会の事務の点検・評価」の結果を活用する。

### 4 協議

令和6年度以降の「基本目標」及びその実現のための「本県教育の取組における視点」「本県教育施策の方向性」について協議

#### 【主な意見の内容】

##### 「基本目標」について

- ・ 国の教育振興基本計画で総括的な基本方針として掲げられた「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」にある，「ウェルビーイング」という言葉は，非常に概念が広い言葉なので，今回の計画の中でどのように位置づけるか検討の必要がある。
- ・ 「持続可能な社会の創り手」の育成は，非常に重要なことだと思う。基本目標の中に未来を創っていく主体的な存在として入れ込んだ方がよいのではないか。
- ・ 県の基本目標に「夢や希望を実現し」とあるが，まず，夢や希望を持って，そして実現し未来を創っていく，そういう人づくりとして解釈してはどうか。
- ・ ウェルビーイングについては，子供一人一人の幸せや健康等といったことを含めて基本目標のところに盛り込めるとよい。

- ・ 教育の力で子供たちが夢や希望を持てるようにしていく必要がある、そのことがウェルビーイングの向上に繋がっていくと思う。
- ・ 国の教育振興基本計画の2つの柱（「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」）を「基本目標」にも入れ込んでいく必要がある。
- ・ 大人が生き生きして、大人の目が輝いていることが、子供たちのウェルビーイングを向上させていくことに繋がると思う。
- ・ 社会教育の中でも、地域から切り離されている家庭が多いのではないかと、という話もある。国の基本的な方針にある「誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進」はとても重要なことだと思う。

#### 「本県教育の取組における視点」について

- ・ 「郷土の教育的な伝統や風土の活用と未来への継承」といった視点で企業等とも連携しながら施策が推進されることで、鹿児島で進学や就職する子供たちや若者が増えてくると思う。
- ・ 視点に「夢や希望を実現する能力の育成」と示されているが、現行の学習指導要領などでは、「個別最適化された学び」であるとか、「協働的な学び」を進めていくという方向があるので、この資質能力の育成についても、もう一步踏み込んで示すことができたらよい。

#### 「本県教育施策の方向性」について

- ・ 教員を確保していく、教員が働きやすい環境を整えていく、といった取組を行っていく必要がある。
- ・ 働き方改革については、働きたいという仕事に対する魅力という視点も大切だと思う。
- ・ ICTという視点よりも、DX（デジタルトランスフォーメーション）という視点を取り入れていくことで、教職員の働き方改革にもつながると思うので、ぜひ、そういった視点を取り入れていく必要がある。
- ・ 教育業界においても働き方改革を本気で推進していかなければ、職員を確保することはなかなか難しい。そういった点からも、教育のDXの推進は有効だと思う。働き方改革を推進し、業務改善を図ることで、教師のウェルビーイングの向上にも繋がっていくと思う。
- ・ 自分だけの幸せや利益だけを追求していくと衝突があったり、法に反することも出てきたりすることもあるため、コンプライアンス、法令遵守、そういったところを守りながらウェルビーイングが充実していくことが、人権教育にも繋がっていくと思う。
- ・ ICT教育について、生成AIをどのように使っていくのかを具体化していくことはとても大事だと思う。教育界だけで対応できる問題ではないと考えるので、いろいろな業界とも連携しつつ情報収集を行いながら対策を講じていく必要がある。
- ・ 「起業家を育てていく」といったことも取り入れていく必要がある。

- ・ 鹿児島にはおいしいものがたくさんあり、鹿児島でないと食べられないものもある。このようなことを子供たちにもっと教えていくことも大切なのではないかと思う。こういったことが、子供たちが、鹿児島に帰ってきたいという思いに繋がっていくと考えている。
- ・ 特別な支援が必要な子供たちがすごく増えている。このような状況の中で、家庭の相談先がなく取り残されてしまい、不安感や疎外感から孤立してしまうこともあるので、そういった点からも、特別支援教育を推進してほしい。
- ・ いろいろな社会の困難なことを変えていくことについて、若者に期待することも分かるが、それと同時に大人たちが学び続けなければ変わっていかないと思う。次世代の人づくりと同時に、多くの世代の人たちが学び続け変わっていくといった視点も大切なのではないか。
- ・ 家庭教育力の向上とよく言われるが、情報等もたくさんある中で、昔に比べて家庭教育力は向上していると思う。むしろ、家庭の孤立を防ぐという家庭教育支援こそが重要なのではないか。
- ・ 生涯学習環境の充実という言葉について、持続可能な社会の創り手となっていくための学習といった視点でいうと、「生涯学習」といった言葉より「社会教育」という言葉の方が、適切なのではないか。
- ・ 社会教育の中で、リカレントという言葉がよく聞かれる。どのように取り入れていくか検討すべき課題である。
- ・ 防災教育や性的マイノリティの問題がいろいろ話題になっているが、こういった問題が今日的課題として重要になってくるのではないか。
- ・ 成年年齢が18歳に引き下げられたことへの対応ということで、学校でも特に消費者教育、主権者教育についてもっと具体的に展開していく必要があると捉えている。
- ・ 現在の学力ということは、もちろんベースにあるのだけれども、今後は、学び続けていかないと社会が維持できなくなるという提言もされているところではある。そういった視点も取り入れていく必要がある。